



作者メッセージ 脚本・演出／渡辺 哲

「これはちっちゃくて大きい不思議なミュージカル」

このミュージカルには大事件も起らなければ、不思議な生き物も魔法使いも出てきません。

風子と名付けられたイヌワシの赤ちゃん、その小さな命の成長に寄り添った、二人の少年と先生のおはなしです。舞台に登場する鉄平、良介、先生。一人ひとりの喜び、悲しみ、夢、おそれ・・・それはみんな私自身の姿でもあります。そしてそれは、見てくれる子どもたちの中にもきっとあって「自分って良介みたい」とか「鉄平の気持ちわかる」とか、そんな風を感じてもらえると思います。

舞台はエンターテインメントにあふれています。良介の奏でる美しいオカリナ。鉄平はロックンロール。先生の歌う「失敗はサイコー！」はきっと子どもたちも口ずさんでくれると思います。キレッキレのダンスにわらび座ならではの民舞「みかぐら」・・・。

さあ、小さな物語の大きくて広い世界を思いっきり飛び回ってみてください！

ものがたり

大自然に抱かれた山里の小学校に通う4年生の鉄平。

鉄平の住んでいる地域では、代々秋祭りで見かぐらを踊る習わしがあり、子どもたちは皆みかぐらを練習している。

ある日、東京から転校生・良介がやってきた！

良介は、まだ誰とも話さない。笑わない。そこには、何か事情があるようだった。

「良介だけに、俺の宝物を見せてやるよ！」鉄平は良介を山登りに誘った。

深い谷の向こう側のごつごつの崖に鳥の巣があった。

望遠鏡をのぞいた先にいたのは、真っ白な産毛をした、小さなイヌワシのひな『風子』だった！

「どうだ、良介。俺の宝物、気に入ったか？」はっきりとうなづく良介。

鉄平と良介は二人で風子の成長の観察記録をつけることにした。その名も「風子メーター」。

白い産毛が茶色に変わる頃、風が強い日に風子が羽ばたきの練習をするようになった。

ある日、鉄平と良介はイヌワシの風子を狙う密猟者に遭遇してしまう。

「風子が危ない！」

鉄平と良介は、風子を助けようと必死に走りだした！

しかし鉄平は足をくじいて動けなくなってしまう。

その時、良介は・・・！？

そして、イヌワシの風子の運命は—————？



今回のキャスト



鉄平 瀬川舞巴



良介 小松詩乃



先生 千葉真琴

わらび座とみかぐら

わらび座が取り組んでいる「みかぐら」は、岩手県衣川村（現奥州市衣川）の衣川小学校大森分校の子どもたちが舞っていた「大森みかぐら」を元にしています。1973年に「大森みかぐら」を取材させて頂き、民族舞踊集「みちのくの太鼓」の中で「豊作舞」というタイトルで、米づくり農民の願い・豊作の喜びを表現する舞踊として構成・振付をアレンジして上演しました。以来、「みかぐら」のもつ躍動感が、子どもたちの心身の解放に大きな力を発揮すると感じ、子ども向けの民舞教材として「みかぐら」を広めてゆきました。



各地で地域の芸能を通して、沢山の子どもの笑顔と成長のドラマが生まれています。

ミュージカル「風子、飛べー！」では、劇中で「みかぐら」に取り組む子どもたちの姿が表現されています。

地域の芸能を守り伝えてきた地元の方々への感謝と、これからも芸能を通して、子どもたちの笑顔が広がってゆくことを願って、この舞台をお届けします。